

「ぎふ多胎ネット」とは

ふたご以上の多胎児の出産は1995年以降に急激に増え、現在は全体の1%を超えています。岐阜県は全国的に見ても多胎児の出産の多い県で、2000年代に入ってから多胎分娩率が常に上位にあります。

多胎の場合は出産から育児に至るまでさまざまな負担があり、特別な支援の必要が求められています。

多胎出産はハイリスクであることに加え、周産期医療の問題、高齢出産、不妊治療などのリスクの重なりによる問題が生じやすいと言われています。また、出産後もその育児負担の過重さや子ども自身の低体重出生、障がい等の問題から虐待のリスクも高くなります。

医療現場や地域保健の立場からもリスク家庭として支援の目が向けられていますが、多胎家庭は医療から地域、さらに教育へと子の成長に伴った一連の支援の隙間に落ちやすいとも言われています。

「ぎふ多胎ネット」は、こうした医療、地域保健、教育など多胎家庭をとりまく関連機関との連携をとりながら、地域ネットワークの中でそれぞれの機関がつながり合い、情報を共有し合いながら多胎家庭を支援していくことを目的としてさまざまな活動をしています。

全ての多胎家庭が健やかに幸せに暮らせることをめざして。



【活動】

ぎふ多胎ネットでは、妊娠期から出産後の育児期まで、多胎児家庭への隙間のない支援をめざし、次のような支援メニューを提供しています。

① プレママパパ教室

多胎妊婦家族を対象として、多胎出産や妊娠期の注意点の講義、先輩多胎家族との交流等を行います。

② 病院サポート

病院へ定期的に訪問し、多胎育児経験者であるピアサポーターが多胎妊産婦に寄り添い、お話をうかがいます。

③ 家庭訪問

ピアサポーターが、妊娠期から育児期までの多胎児家庭を個別訪問し、お話をうかがったり体験をお話ししたりします。

④ 多胎児健診サポート

市町村の4ヶ月健診、10ヶ月健診などにサポーターを派遣し、受診のお手伝いやお話をうかがいます。

⑤ 多胎育児教室

県内各地に出向き、おおむね0歳～3歳の多胎児を持つ親を対象に育児教室を開催します。



⑥ 多胎のつどいサポート

行政主催の「多胎のつどい」を訪問し、先輩ママとしてつどい参加者をサポートします。

⑦ 多胎イベント

多胎家庭を対象としたイベントを開催します。

⑧ 多胎に関する研修会の開催

当事者に向けた子育て研修会や、子育て支援者・保健師・保育士など専門職に向けた多胎支援研修会などを開催します。

⑨ 多胎支援に関する講師の派遣

多胎家庭の理解、多胎支援、多胎の子育てなど依頼に見合った多胎に関する講師を派遣します。

⑩ 多胎支援の人材育成

多胎支援を担うピアサポーターやコーディネーター、多胎研修会の講師など支援に必要な人材の育成・管理をしています。

⑪ 情報・啓発

活動内容などを載せたニュースレター、多胎育児の手引き、サークル・つどいの一覧表など、多胎に関する情報の収集と提供を行っています。